

B 公共交通が便利な地域(公共交通軸)に集まると…

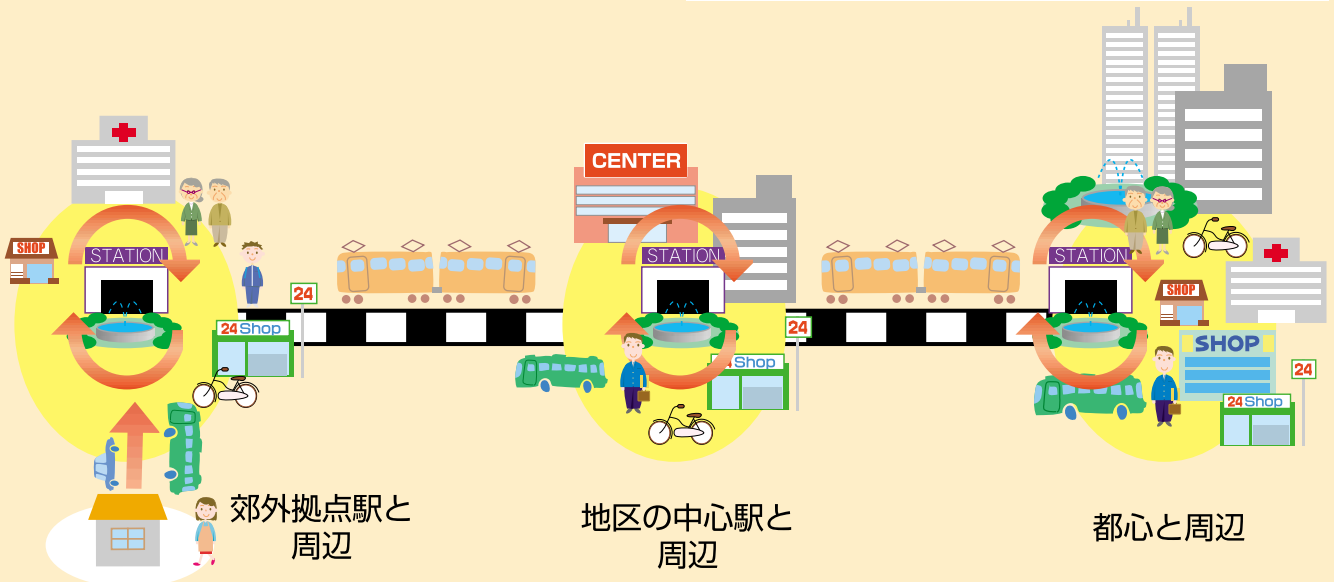
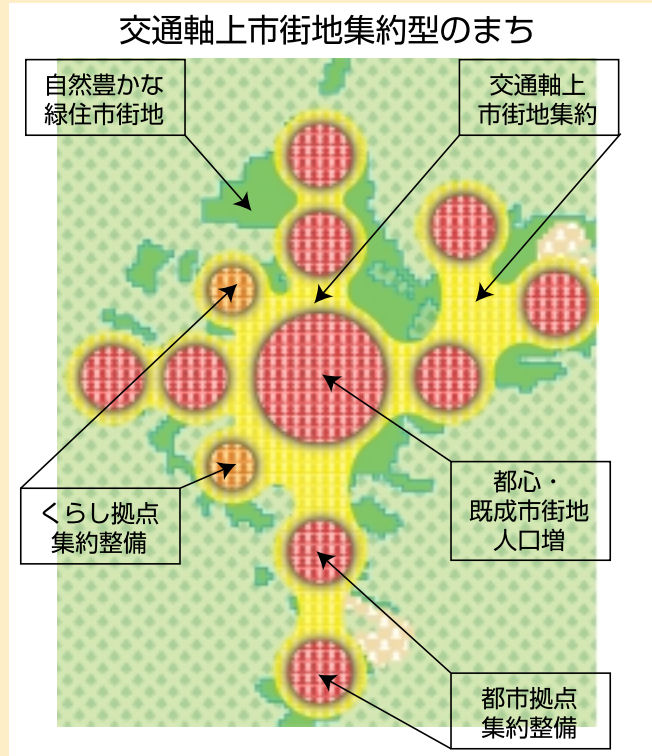
鉄道駅などの周辺にまちが集約します。

◎公共交通軸周辺の市街地での暮らし

○日常生活のほとんどは、徒歩・自転車・バスなどで駅周辺の市街地の中を移動すれば済みます。都心や他の拠点へ行く場合は、鉄道や基幹的路線のバス利用が早くて時間も正確です。

◎交通のすがたと想定される変化

- 鉄道駅周辺にまとまって暮らす人がもっと増えれば、クルマの利用が減り、排気ガスやガソリンの消費量も減ります。
- まちなかでは徒歩や自転車利用の人が集まって活気があふれ、また健康的な生活が営まれます。
- 鉄道やバスの利用者が増えるとともに運賃収入も増加し、路線廃止の可能性も少なくなります。



このような議論の結果、将来の仙台都市圏はできるだけ鉄道駅などのまわりに集約したBのようなまちのすがたを目指し、これを支える交通政策を進めていくとともに、実際に暮らす県民・市民の方々やそこで働く民間企業の方々にも、もっと鉄道・バスを使っていたらいいと考え、次の3つの政策の推進を提言します。